

プランナーを膨大な業務から救え!

ウェディング業界の救世主“アニクリ”の業務効率化の秘密に迫る!!

(株)エスクリ アニクリ事業部 ゼネラルマネージャー 平林 正義氏

“結婚式の準備”というと、新郎新婦はもちろん、プランナーも同じく“大変なもの”という印象を持つことが多い。衣裳、写真、美容、装花などの打ち合わせに加え、招待状の作成、ギフトや演出の選択など、結婚式のために準備する項目は山ほどある。打ち合わせの労力の大きさが、結婚式そのものを“おっくう”にさせているという声すらあるのが実情だ。そこでウェブを駆使し、結婚式の準備や打ち合わせを効率的に行なえるシステム“アニクリ”を開発したのがエスクリだ。今回は、ほかのシステムにはない、アニクリ独自のプランナー業務軽減の秘密と、アニクリの外部展開について話を聞いた。



新郎新婦の結婚準備作業負担を軽減

エスクリ（東京都港区）は新郎新婦およびプランナーにかかる業務負担の軽減とゲストによる挙式・パーティー作りを実現する、ソーシャルメディアウェディングサービス「Anniversary Create（アニバーサリークリエイト）」（通称：anicrit アニクリ）を開発した。

アニクリはFacebook、twitter、mixiなどのソーシャルメディアと連動するウェディングサービスで、ソーシャルメディアならではの利便性・柔軟性を生かし、いつでもどこでも、招待状送付リスト作成や席次表作成が可能となった。これにより新郎新婦にかかる作業負担を大幅に軽減することができる上、ゲストの出欠管理や出席者の配席、引出物の決定やプランナーとの打ち合わせ前の作業にいたるまで、結婚式準備に必要な項目を事前に確認できるようになった。

「以前は新郎新婦様に何度も会場に足を運んでいただき、その都度、打ち合わせの中で決めていましたが、アニクリがあれば、来館前に必要事項がクリアにされるため、打ち合わせをスムーズに行なうことができます。時間が短縮された分、お客さまとよ

りコミュニケーションが図れますので、本当に求めている結婚式作り注力することができます」（平林氏）。

プランナーの打ち合わせにかかる業務負担を軽減

またほかのシステムと一線を画すポイントは、顧客ごとの接客履歴を一元管理できることだ。よくプランナーから“パートナーとのやりとりがアナログで煩雑化しており、非常に労力を割いている”といった声があがる。そこでパートナーとのやりとりや接客後の情報共有など、すべてを顧客ごとに一元管理を行ない、打ち合わせの進捗を容易に把握できるようにしたことで、業務効率を飛躍的に向上させた。

「パートナーの方もアニクリを使える環境を整えたことで、発注業務がスムーズに行なえるのはもちろん、プランナーが接客情報を把握しながら打ち合わせを行なえるので、業務効率が上がりました。面倒な発注書への転記などもアニクリを使って行なえるため、ミスもムダもなくなった上に、パートナー間でのコミュニケーションも活性化したので、全体の提案力が

強化され、顧客満足まで向上しました」（平林氏）。

アニクリを外部企業に展開スタート

今後は同社自営施設だけでなく、外部の企業においてもアニクリを使用した打ち合わせを、レクチャーを交えながら展開していく考えだ。

「アニクリはプランナーが打ち合わせ業務に専念できるためのインフラだと考えています。煩雑な部分はスムーズにし、プランナーがもっと接客に専念できる環境を、外部企業でも整えていきたいと考えています。アニクリによりプランナーがいきいきと働けるようになれば、今まで以上にすてきなパーティーをたくさん作っていけると考えています」（平林氏）。

業務の多忙さから、わずか数年で燃えつきてしまうプランナーが少なくない。このシステムにより、プランナー業務を大幅に軽減し、打ち合わせへの期待をさらに高めるものにできるのであれば、ウェディング業界の新たな救世主として注目されることだろう。